

南相馬

# ミュージアム通信

Minamisoma City Museum News

Vol. 8

平成20年7月15日発行

編集・発行

南相馬市博物館

原町区牛来字出口 194

電話 0244-23-6421

URL [http://www.city.](http://www.city.minamisoma.lg.jp)

[minamisoma.lg.jp](http://www.city.minamisoma.lg.jp)

南相馬市博物館 企画展

## 田んぼの生きもの・たからもの

一人とともに歩んできた自然

平成20年 10月4日(土) ~ 12月7日(日)

近年、水田(田んぼ)が見直されています。田んぼは、人が自然を利用しながらつくった環境ですが、保水力に優れ、生き物が豊富です。また、地域ごとの「田んぼの風景」は、優れた農村文化としても評価されています。「生き物のゆりかご」、地域の「財産」でもある田んぼでは、今、生きものに配慮したり、「生き物ブランド米」などがつくられ、農家や地域の活性化に一役買う動きもみられるようになりました。

しかし、後継者不足や維持管理の問題、圃場整備事業による生物の減少など、さまざまな問題があります。

今回は、田んぼの生き物を展示しながら、生物を守りながらの米作り、田んぼの魅力と問題点、未来について考えます。

観覧料	一般	400円	(350円)
	高校生	200円	(150円)
	小中学生	100円	(80円)

※( )内は団体料金

市内に居住・通学する小中高生は無料です

障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)



写真上から・田んぼの風景(小高区)、ミズアオイ 撮影：伊賀和子氏  
アオハダトンボ、メダカ

企画展記念講演会 日程未定

講師 岩淵成紀氏 (NPO 法人たんぼ)

田んぼと生き物についてお話いただけます。詳細はポスター・チラシ・市の広報誌等でお知らせします。



## 県民の日を記念して 無料開放します

8月16日(土)・17日(日)の両日、今年も「福島県民の日」を記念して、博物館を無料開放します。特別展にともなう映画上映会も開催予定です。皆さまのご来館をお待ちしております。

福島県民の日とは

明治9年(1876)8月21日、旧福島県・磐前県・若松県の3県が合併し、現在とほぼ同じ姿の福島県が誕生したことにちなみ、平成9年(1997)から毎年8月21日を「福島県民の日」と制定しました。

特別展

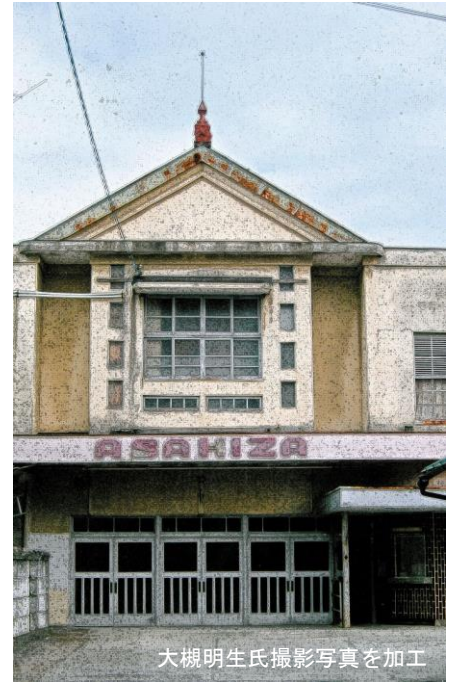
あさひぎ きせき  
**朝日座の軌跡**  
地方の映画館が遺したものの

平成20年 **8月2日(土)～9月7日(日)**

みなさん、朝日座で映画をご覧になったことがありますか？  
時代劇や洋画など昭和のなつかしい映画ポスターを展示します。

朝日座は、大正12年(1923)映画常設館として開館してから、平成3年(1991)の閉館まで、68年間にわたり原町の娯楽の中心として親しまれてきました。当時の映画は、多くの人々にとって大事な娯楽の一つでした。すなわち、ほんの一昔前まで映画館は、人々の交流の場であり、また映画をみることは、家族団らんの一つでした。

今回、朝日座の歴史や上映した映画のポスターを紹介し、当時の様子や、今忘れられかけている家族や街に住む人々との交流(コミュニケーション)を再認識するきっかけとなることを望みます。



大槻明生氏撮影写真を加工

朝日座全景

**開催記念映画上映会 観覧無料**

**8月16日(土)・17日(日)当館シアターで映画を上映します。ぜひご来館ください。**

**8月16日(土) 生誕100周年記念 亀井文夫監督(南相馬市原町区生まれ)作品の上映**

- ①午前9時30分～ 「女ひとり大地を行く」(1953年)
- ②午後1時30分～ 「日本の悲劇」(1946年)
- ③午後3時～ 「生きていてよかった」(1956年)

**8月17日(日) 朝日座の世界 講話と16mmフィルム映画上映**

- ①午後1時30分～  
布川雄幸氏(元朝日座館主)講話「朝日座について」
  - ②午後2時～ 北大路欣也主演第1作時代劇「葵の暴れん坊」(1961年)
- ※8月17日の観覧は整理券が必要です。お申し込み・お問合せは博物館まで

常設展示室 ミニテーマコーナー

た  
**ごはん 炊けたかな??**

平成20年 **7月1日(火)～9月28日(日)**

電化製品の普及で様変わりしてしまった台所まわりの風景。  
ご飯はどんなふうに炊いて、蒸して食べられていたんでしょう？

炊飯器ができる前までの日本では、どんな道具でご飯を炊いて、どんな食器で食べていたのかな? 「炊く・蒸す・食べる」というポイントから、古墳時代と昭和時代の台所の道具を展示します。



古墳時代のカマド(模型)



# 報徳仕法の原点 『報徳記』原稿と『報徳訓』

平成20年 9月30日(火)~12月14日(日)

二宮尊徳の一番弟子で、奥州中村藩士の富田高慶が著した『報徳記』の原稿と、尊徳考案で報徳仕法について誰にでもわかりやすく説いた『報徳訓』を中心に展示紹介し、報徳仕法の原点を探ります。



富田高慶自筆『報徳記』原稿（部分）

## 鹿島歴史民俗資料館より

鹿島歴史民俗資料館 企画展

協力:相馬中村層群研究会

# 剣歯虎 (サーベルタイガー) がいたころ 250万年前の哺乳類化石

平成20年 7月20日(日)~10月19日(日)

今から約 250 万年前の鮮新世後期の日本列島は、大陸と陸続きになっており、大型の哺乳動物が大陸から渡ってきました。このころの地層が浜通り地域の低地地帯に分布しており、豊富な貝化石にまじって、クジラ類やオットセイ、アザラシなどの海の哺乳類化石も多数発見されています。不思議なことに、この海に堆積してできた地層から、日本初となった大型ネコ科の化石が富岡町から発見され、新聞を賑わしたことは記憶に新しいところです。

日本のネコ科の化石は、これまで数万年程度のものしか発見されていませんでしたが、250 万年前のものは日本初で、剣歯虎 (サーベルタイガー) との関係も考えられています。

今回の企画展では、貴重なネコ科化石のほかに、シカやゾウなど陸の哺乳類、オットセイやアザラシ、クジラなどの海の哺乳類化石を中心に約190点展示します。



相馬地方で初公開!

日本初産の鮮新世(約 250 万年前)の大型ネコ科化石



シカ科化石



ギルモアオットセイの下顎

### 鹿島歴史民俗資料館

開館時間 9:00~16:45

休館日 毎週月曜日

※月曜日が祝・休日などの場合は開館、その翌平日が休館日

入館料 一般110円 中学生以下無料

鹿島区西町三丁目1 TEL: 0244-46-4281 FAX: TELと同じ



# 南相馬市博物館の催し物

7月～12月

※申し込みはお早めに。定員になり次第締め切ります。  
問合せは 南相馬市博物館 0244-23-6421

期 日	タイトル	詳 細
7月26日(土)	体験学習 「土製品をつくろう ー土面づくり」	0:00～12:00 定員 30名 講師 (財)福島県文化財センター白河館職員ほか 縄文時代後期から晩期に使われた土製品について学び、粘土で土面を作ります。 【持ち物】タオル 【参加費】200円程度
7月27日(日)	体験学習 「南相馬のたんぼ② ー夏のたんぼと用水路で、 虫と魚をつかまえよう!!」	9:00～12:00 定員 20名 講師 久保 隆氏・三田村敏正氏(福島昆虫ファウナ調査グループ)大亀清壽氏・須藤栄治氏(鯉族 協議会)、佐藤洋司氏(阿武隈の野生動物を考える会)、伊賀和子氏(福島県植物研究会) 南相馬市内のたんぼと用水路で、虫や魚をつかまえて観察します。 【持ち物】帽子、水筒、着替え、ぬれてもいいシューズや長靴、アミ、虫かご
8月2日(土)	体験学習 「勾玉づくり」	10:00～12:00 定員 30名 講師 佐藤祐子学芸員 縄文時代から使われている勾玉の歴史を学びながら、実際に勾玉を作ります。 【持ち物】汚れてもいいタオル・えんぴつ・蛍光ペン 【材料費】250円程度
8月24日(日)	博物館講座 「南相馬市の漁撈習俗 ー歴史を資料化するルール」	13:30～15:30 定員 50名 講師 岩崎真幸氏(みちのく民俗文化研究所代表) さまざまな資料を使いながら、原町区にかつてあった漁村の生活を明らかにします。
9月13日(土)	博物館講座 「奥州相馬の歴史発見 ー天下普請と警衛公役」	13:30～15:30 定員 50名 講師 田原口保貞氏(鹿島文化財愛好会顧問) 中村藩主相馬氏が、江戸幕府の命によって行った土木工事「天下普請」や、江戸城門番・全国各地 の城の在番等の「警衛公役」について、スライド等を用いて紹介します。
9月20日(土)	博物館講座 「南相馬の子供の祭り (講座と映画)」	13:30～15:30 定員 50名 講師 二本松文雄主査 小沢と下江井で行われている珍しい子供中心のお祭り天神様のお下がり、子供の自立と地域社会 とのかかわりについて紹介します。また、今年制作した記録映画「南相馬の子供の祭りー小沢と下 江井の天神様のお下がり」を上映します。
9月27日(土) ～28日(日)	体験学習 「化石をとって展示しよう!」	①9月27日は13:30～16:00 ②9月28日は9:00～12:00 定員 20名 講師 平宗雄氏(相馬中村層群研究会) 滝本秀夫氏(ミュージアムパーク茨城県自然博物館 首席学芸主事) ジュラ紀の化石を採集したあと、博物館のエントランスホールに化石を展示してみましょう。 ※2日連続で参加できる方 【持ち物】軍手・新聞紙・ビニール袋・油性ペンなど
10月13日(月) 体育の日	民話の世界	10:30～12:00 民俗芸能:北原の神楽、北原おけさ。出演:北原神楽保存会ほか有志 民話語り部:未定 会場:国指定重要文化財 旧武山家住宅(原町区北原) 江戸時代に建てられた農村に住んだ武士の住宅で、地元につながる民俗芸能を見学し、いろいろたで 楽しい民話を聞きます。
10月18日(土)	相双管内史跡めぐり	9:00～15:00 定員 22名 講師 当館学芸員 相双管内の史跡・神社仏閣をめぐり、相双地区の歴史について学びます。
11月16日(日)	体験学習 わらそうり作り	9:30～12:00 定員 20名 講師 佐藤秀氏・花井良信氏 わらそうりを作り、自給自足の時代のくらしとわらを使った生活用具について学びます。
11月30日(日)	博物館講座 「相馬の武士②ー家中武士」	13:30～15:30 定員 50名 講師 水久保克英主任学芸員 江戸時代、中村城下に住んでいた家中武士について、その概要を紹介します。
12月13日(土)	博物館講座 「古代の様相 ー城柵と人の移動」	13:30～15:30 定員 50名 講師 佐藤祐子学芸員 律令国家の支配地域の拡大、蝦夷対策としての城柵、他国への移住させた柵戸など律令国家の東北 支配について解説します。

## 「古文書解説講座」【初心者向け】

8月3日、9月7日、10月5日、11月2日、12月7日

今年度は、戦国時代の相馬の歴史について書かれた江戸時代の記録書「東奥中村記」をテキストとします。

13:30～15:30 定員 20名

【持ち物】原稿用紙・筆記用具

※通常毎月第1日曜日開催(変更の場合あり)

## ◆地域伝統文化振興事業 観覧無料

### 古武道演武

と き 10月19日(日) 午後1時30分～

と ころ 県立東ヶ丘公園 西側芝生広場(博物館前)

相馬に伝わる古武道流派の演武をおこないます。  
詳細はポスター・市の広報紙等でお知らせします。



演武のようす(平成18年度)

## 各館のご利用案内

### 南相馬市博物館

問合せ 〒975-0051 原町区牛来字出口194 電話:0244-23-6421 ファックス:0244-24-6933

E-Mail: hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45(最終入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日および年末年始 ※月曜日が祝・休日の場合は開館、その翌平日が休館日となります ※7月22日(火)は臨時開館します。

観覧料 一般300円(250円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円) ( )は20名以上の団体料金です。

※企画展開催中は観覧料が異なることがあります。市内に居住・通学する小中学生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)

### 鹿島歴史民俗資料館

問合せ 〒979-2442 鹿島区西町三丁目1 電話:0244-46-4281 ファックス:電話と同じ

E-Mail: k-shiryoukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45 休館日 毎週月曜日および年末年始 ※月曜日が祝・休日などの場合は開館、その翌平日が休館日となります

観覧料 一般110円(団体は20名以上半額) 中学生以下無料